

令和5年7月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和5年7月26日(水) 開 会 午後4時30分
閉 会 午後5時10分
- 2 場 所 下諏訪総合文化センター 講習室
- 3 出 席 者 松崎泉教育長、網野美秀教育長職務代理者
瀬切陽一教育委員、木村一恵教育委員、荻久保メイ子教育委員
- 4 事務局(説明員)
北澤勝己教育こども課長
岩波洋課長補佐兼生涯学習係長、平澤暁俊教育総務係長、
亀割英人子育て支援係長、平林美香図書館長、
田中慎太郎健康サポート係長 小河原皓也スポーツ振興係主査
藤森亮馬教育総務係主査

令和5年7月定例教育委員会 次 第

令和5年7月26日(水)

下諏訪総合文化センター2階 講習室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 教育長報告
- 4 報告事項
 - (1) 有新鶴本店からの寄附について
 - (2) 有新鶴本店から小中学校への塩羊羹寄贈について
 - (3) 学校施設の工事進捗状況について
 - (4) ボートサミット・全国市町村交流レガッタの進捗状況について
 - (5) 下諏訪町こども未来懇話会について
 - (6) その他
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

【会議録】 議事の内容

1 開 会 松崎教育長

2 会議録署名委員の指名 網野美秀教育長職務代理、木村一恵教育委員

3 教育長報告

- 1 (土) ○人形劇まつり
- 3 (月) ○青少年犯罪防止強化月間・社会を明るくする運動
- 5 (水) ○北小5年キャンプ(～6日)
- 6 (木) ○65th 町村教育長研修総会(佐久穂町)
- 10 (月) ○南小(民生児童福祉委員との懇談会) 授業参観と全体・分散懇談会
- 11 (火) ○16:30 ゼロカーボン川柳表彰式; 4F 講堂
- 12 (水) ○南小5年キャンプ(～13日)
○下中2年登山(～13日)
- 14 (金) ○町校長会
 - ① ガーデンプロジェクト; 7/22(土) 8:00; 文化センター北駐車場にて頒布会
 - ② 町新任職員等研修会; 7/25(火)
 - ③ 広島平和教育体験研修; 8月2～3日実施予定(中2生対象、小中学校は折り鶴)
 - ④ 南知多町交流; 8月3～4日実施予定(南小25、北小14、南知多町20、計59名)
 - ⑤ 町民水泳大会; 8/6(日) 南小プール
 - ⑥ 県林務課より「山地災害防止出前講座」(北小5学年希望あり)
- 15 (土) ○10:00 今井邦子忌; 本年度は「文学祭」一般公開
- 21 (金) ○1学期終業式(南小、北小、下中、社中); 夏休み7/22(土)～8/22(火)
○臨時教育委員会; 荻久保メイ子新教育委員着任

【以下予定】

- 22 (土) ○ガーデンプロジェクト: 文化センター北側駐車場にて花の苗頒布会
- 23 (日) ○こども未来懇話会
- 25 (火) ○町新任教職員研修会 町長挨拶、教育長講話～星ヶ塔ミュージアム等研修
- 26 (水) ○定例教育委員会
- 27 (木) ○社中2年登山
- 31 (月) ○小学校教科用図書採択合同会議; 諏訪教育会館
○お舟祭り宵祭り

質疑なしー了承

4 報告事項

(1) 有新鶴本店からの寄附について

〈亀割係長〉説明

去る6月19日に町長室において有限会社新鶴本店代表取締役社長様より町へ寄付金450万円のご寄付を賜りました。新鶴本店では今年で創業150年を迎え、また6月に代替わりされたことなどから、それらの記念とした地域への貢献活動の一環として、町保育園1園当たり150

万円、計 450 万円のご寄付を賜ることとなりました。

寄付者のご意向により、町保育園の運営費に充てさせていただくこととしており、一部を形として残していただきたいというご意向もありましたので、各園へ保育で使う大型ソフト積み木や園外の散歩時にも使える避難車などの購入を考えております。

質疑なしー了承

(2) (有)新鶴本店から小中学校への塩羊羹寄贈について

〈平澤係長〉説明

新鶴本店が今年度総業 150 周年ということで、昨年度に引き続き、小中 4 校へ塩羊羹の寄贈を受けました。寄贈は、6/27 に南小 610 個、社中に 170 個、6/30 に北小 270 個、下中 340 個となっており、小学校は 1/8 切れ、中学校は 1/6 切れとなっています。なお、6/27 に南小学校において、河西 新社長をおむかえして、感謝状をお渡しするとともに、子供たちが給食で食べる姿を見学していただいています。子どもたちが喜んで食べている姿をみて、河西社長も大変喜んでおり、是非来年も引き続き子ども達に塩羊羹を食べてもらいたいので、ご迷惑でなければまた寄贈したいと思いますとおっしゃっていました。以上となります。

質疑なしー了承

(3) 学校施設の工事進捗状況について

〈平澤係長〉説明

それでは現在進行している工事の進捗状況について報告させていただきます。

まず、下諏訪南小学校夜間照明設備改修工事となります。この工事は、校庭にあります夜間照明について、老朽化してきていることから、コンクリート電柱も含め更新をして LED 化するものです。請負業者は、株式会社六協となり、工期は令和 5 年 5 月 2 日から令和 5 年 10 月 31 日までとなっています。ただ、基本的には夏休み期間中に集中して作業を実施しており、その間基本的に校庭は使用できない状況となっています。夏休み終了後は校庭を使用できるようにいたしますが、分電盤等の設置に時間がかかるためしばらくの間は夜間の使用は出来ない状況となります。

次に、下諏訪北小学校照明設備改修工事となります。この工事は、校内の照明設備の LED 化工事となります。請負業者は株式会社アイ・エレテクとなり、工期は令和 5 年 7 月 22 日から令和 6 年 1 月 31 日までとなります。この工事も、出来るだけ夏休み中に完了しておきたい部分、講堂、体育館、給食室については終了できるよう業者の方で、進めています。なお、教室などについては、夏休み以降に学校と調整しながら、平日や土曜日等において施工していく予定となっております。

質疑なしー了承

(4) ボートサミット・全国市町村交流レガッタの進捗状況について

〈小河原主査〉説明

ボートサミット・全国市町村交流レガッタの進捗状況についてです。昨年度、本事業に関する実行委員会の立ち上げの際にもご報告をさせていただきましたが、それ以降の進捗状況になります。大会の概要について簡単にまずご説明させていただきながら、現在の進捗状況をご報告させていただければと思います。大会につきましては 9 月 29 日（金）から 10 月 1 日（日）まで

3日間、1日目にボートサミットという全国ボート場所在市町村協議会という組織で、全国では31市町村でボート場を保有する市町村で構成されている協議会がございまして、そちらの協議会の市町村長さんにお集まりいただいて、会議また懇親会を行うという形で、ボートサミットという会議を開催させていただきます。これが先ほどの9月29日金曜日、1日目に開催を予定してございます。9月30日（土）、10月1日（日）につきましては、全国市町村交流レガッタ下諏訪大会という形で、全国の協議会に参加する市町村からボートの交流というところを主な目的としまして、ナックルフォア艇を使った下諏訪レガッタと同じような形の大会を開催させていただきます。ボートサミットにつきましては、現状32市町村のうちの31市町村が参加の意向をいただいております。市町村交流レガッタにつきましては、25市町村、およそ800人から1000人規模の来場が見込めるところでございます。

大会に関してはボート競技の他に、赤砂崎公園や健康フィールドあたりを活用させていただきまして、物産展とか、市町村の観光の紹介ブースまたキッチンカーなどをお願いして、おもてなしブースという形で、参加者をおもてなしするような歓迎ブースというものを設けさせていただきまして現在準備を進めております。

教育委員会に係る部分で主だったものとして、6月末から小中高の生徒児童の皆さんに、参加市町村をイメージしたような歓迎の「のぼり旗」を作っていただく形で学校の方にも御努力をいただいております。向陽高校に関しましては、もう一点お願いをしております、大会のポスターを向陽高校の美術部をお願いしております。

大会については、また今後の準備を進めていくところではございますが、大会の主だった内容で大会会場案内図という形で本日お示しをさせていただいております。

大会当日については、交通規制をかけて地域の皆さんにご迷惑をおかけすることにはなりませんけれども、ステージと物産展等の店舗をこちらに設営するような形で大会参加者へのおもてなし、また、町内地域の皆さんも楽しんでいただけるようなイベントスペースというような形での目的として、準備をしまいたいと考えております。

また、お手元にネクストラップを配布させていただきました。こちらについても7月から職員全員につけさせていただいて、大会が今年ありますよっていうような形で庁内で啓発PRをしておりますので、ぜひ皆さんも活用いただければと思います。以上です。

《網野職務代理》

レガッタについて、ヘリポート部分も開放するというところでよいか。

〈小河原主査〉

ヘリポート場は臨時解放ということで、当初は開放しない形で使わせていただく予定ですが、駐車場がいっぱいとなった場合など臨時のときには利用させていただく場合があります。

《瀬切委員》

子どもたちに旗を作ってもらったり等のお話をいただいたところですが、せっかくの機会なので、学校の生徒に募集をかけて特別席で大会を見てもらったりとか大会に係わってもらえるような機会を考えられないだろうか。

〈小河原主査〉

実は小中4校の校長先生からそういったお話をいただいております、特に下中の生徒さんとかボート部もありますので、最初からボランティアをぜひ積極的に参加したいということで申し出いただいております、そういったところでご協力いただくという部分も一つですし、特

に北小学校区の皆さんに関してはポートに触れる機会があまりないという中ですが、大会の会場にも観覧席みたいな形でゴール付近のところにちょっと日除けのテントとか用意をさせていただいて、そういったところで座って見れるとか、物産関係も含めて割引のようなチケットなど用意できるかどうか検討しながら、物産の方にも行きやすい形で地域の方にも参加しやすい形の仕組みを考えて、こちらに寄っていただいてポート競技もちょっとぜひ、初めてなら初めてで見ていただくという、そういう流れを学校の方も周知をしてやっていきたいと思しますので、今、委員さんにいただいた意見もぜひ大切にして、そういう周知していきたいと思します。

質疑以上一了承

(5) 下諏訪町こども未来懇話会について

〈北澤課長〉説明

お配りしました資料の6ページ7ページをご覧くださいと思います。

今年初めて開催をさせていただきました。令和5年度第1回目の下諏訪町の子供未来懇話会の開催の概要報告になります。

先ほど教育長から7月23日の午前10時、それから午後2時ということで、午前10時は0～5歳児、それから午後については小・中学生ということで2回開催させていただいたところです。開催の趣旨はそこに記載させていただきましたが、国の喫緊の課題であります少子化問題への対策として、国ではこども家庭庁の新設、それからこども未来戦略会議これが閣議決定されました。その中で未来戦略方針というものを掲げ、これからですが、3兆円規模の予算を確保し、子ども子育て支援へ大きく政策を展開しようという報道がされています。その中、少子化問題は当然当町でも課題でありまして、出生数だけで比較しますと、平成25年度から29年度までの平均が年間121.4人だったことに対しまして、平成30年度から令和4年度までの直近5年の平均は97.6人ということで、20人以上減少しているということになります。

こうした状況でもあることから、町としても様々な政策を行ってきているところではございますが、国が大きく子育てに舵を切ろうとしているこのタイミングに合わせて、今後の当町での施策・事業について関係する皆様方から意見を聞きたいという目的で懇話会を開催することといたしました。内容は下諏訪町が行ってきました子ども子育て支援に関する政策、それから現在、国が検討している政策について事務局の方からご説明をさせていただき、出された意見の全てではないですが概要として、0～5歳児の部では、他の市町村では子どもの医療費がゼロのところもあるが町の対応はどうか。それから病児保育を検討してもらいたい。町民プールも検討してもらいたい。ちょうど暑い時期だったのでそんな意見も出ました。児童館がないので設置していただきたい。地域と一緒に子育てをしていくために子育てボランティアを募ったらどうか。夏休みなどの期間を地域全体で子どものための居場所作りをしたらどうか。旧イオン諏訪店跡地への店舗に対しての第2ポケットは不要ではないか。国は保育士の配置基準の見直しを考えている。現状で下諏訪町の保育士にはゆとりがない。保育士が預ける病児保育があると助かる。子ども自身が自分を大切に考えたらどうかという事を伝えたい。このような意見が出ました。

それから、午後の小中学生の部では、民間は特に父親の育休が取りづらい。下諏訪町は子ども子育て施策がしっかりと用意されていると感じている。それから学校や行事に行きたくても

行けない保護者も多い。やめたらどうかといったPTAの皆さんの意見もあるそうです。それからテレワークやオンライン、最近ありますが、行いたくても行えない職場もあることを理解してもらいたい。不登校の子どもの施設があっても良いのではないか。声を出せない若者や子どもの意見をどう吸い上げていくかが課題と考える。キャリア教育や人権教育も重要。少子化対策を子ども自身が学ぶ場を設けたらどうか。それから子どもへの性教育のあり方、これは大人になることを家族みんなで喜ぶ機会としたらどうかとこんな提案をいただいたところです。

今後については、次回を第2回目として9月2日土曜日に開催いたします。この1ヶ月の間にご参加いただいた各組織や各団体の皆様から課題、それから今後の施策などの意見を出していただいて情報共有をさせていただく場としていきたいと考えております。

下諏訪町ではこれから来年度の予算を組み立てていく作業が始まりますので、こういった意見を参考に来年度以降の事業への参考にさせていただきたいと思っておりますし、随時また教育委員の皆様にはご報告をしながら、意見もいただいきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

《瀬切委員》

懇話会についてですが、今現状の小・中学校の状況をもっと良くしていこうっていうような内容提案をしているのか、それとも少子化対策として、もっと下諏訪町子どもを増やして、下諏訪に人を呼んでいくためにやっていくものなのか、どちらか。もし、下諏訪町にもっと人を呼ぶことを考えるのであれば、住民環境課長などにも出てもらい、人口状況などのデータを出してもらいながらやったらどうだろうか。

〈北澤課長〉

少子化問題の対策と、生まれた子どもがいかにかに下諏訪の中で育てていただけるかっていうことを二つの大きな括りの中で考えなくてはいけない。次に委員さんがおっしゃるように生まれる子どもがまず少ないという課題もあります。生まれた後どういう教育を、どういう手当とか、どういう補助制度とかがあったらいいなという、二つの部分に分かれると思います。確かに生まれるまでのことはうちの課では、実はありませんので、そういった課題については役場の他の課の課長たちとも協力させていただくのですが、我々が一番意見として欲しいのは、生まれてきていただいて育てていく子どもが、どういう施策や事業があることで、より充実したその後の人生を過ごしていただけるかっていうことの意味を聞きたいと思っております。ただ、生まれるまでの意見を出してもらっては困るというわけではなく、この少子化の中、いつか親になる子どもの世代に、あなた方の子どもぜひ下諏訪で産んでくださいねってことも一つであると思っております。それと直近の移住者を増やすとか、出産費用を安くとかそういった課題もあるので、そこら辺は連携を図りつつ、実際には教育こども課、教育委員会が主管してるということであるならば、生まれてからのことを重点的に聞きたいというのが、担当課としての考え方でございます。

質疑以上ー了承

(6) その他

〈小河原主査〉説明

本日お配りをさせていただきましたが、8月20日の町民講演会についてチケットの方がご用意できましたので、教育委員の皆様にもぜひ当日ご参加いただければ有難いと思っております。

6 その他

〈平澤係長〉

次回の定例委員会および臨時教育委員会の日程になります。直近でございますが、8月の臨時教育委員会につきましては、8月2日（水）午後3時半からということになります。定例の教育委員会につきましては、8月18日（金）となっております午後3時半からとなっております。よろしくお願いいたします。

7 閉 会 午後5時10分終了

以上、会議の経過を記して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年9月25日

署名委員 網野 美秀

署名委員 木村 一恵

調整職員 北澤 勝己